

参考資料 3-3

260122_総務常任委員会

小田原市地域コミュニティ 基本指針に関連する取組

市民部 地域政策課

- 1 市民と市長との地域活動懇談会の概要
- 2 地域担当職員の現状
- 3 地域プロジェクトの現状
 - ・地域アクションいきいき補助金
 - ・地域活動アドバイザー派遣
- 4 エディブル・スクールヤードの展開
- 5 地域活動の情報発信・共有に係る実証的な取組

1 開催概要

■ 市民と市長との地域活動懇談会の概要



自治会長大会



富士見



前羽



大窪



上府中



早川



芦子



下曽我



緑



幸



東富水



下府中



曽我



国府津



片浦



十字



二川



万年



足柄



新玉



酒匂・小八幡



久野



豊川



下中



桜井



山王網一色



富水

自治会長大会
R7.10.21

【地域運営課題への対処】

地域の負担を

減らす

- 団体役員の業務負担が重い
- 委員推薦の負担軽減の声
- 団体間の取組の重複 等

地域の活動を

支える

- 団体役員の固定化・高齢化
- 自治会加入率の維持・向上
- 開かれた活動への見直し 等

地域の担い手を

つなぐ(掘り起こす)

- 次代を担う人材の育成
- 活動に従事する人の確保
- 団体間の横の連携強化 等

【取組推進の手段】

地域
プロジェクト

仕組

地域
担当職員

ひと

地域
活動拠点

場

【地域活動懇談会における意見整理】

- 地域活動を支える担い手の減少／役員の高齢化
- 若年層・子育て世代の地域活動への参加促進の障壁
- 団体運営における負担感（事務・情報発信・資金など）
- 自治会加入率の低下／地域への関心の希薄化
- 公共交通衰退／空き家・空き地増加／活動拠点老朽化



【地域での主な取組例】

■ 多様な世代の巻き込みと参加促進

- 中高生などの若い世代を青年会活動に巻き込む
- 子育て世代が地域活動に参加しやすい環境づくり

■ デジタル技術の活用と情報発信の強化

- 回覧板のデジタル化など情報伝達手段の多様化
- 多くの住民が地域情報にアクセスできる環境づくり

■ 自治会間の連携と資源の共有

- 近隣の自治会・団体が連携した人材・資源の共有
- 隣接自治会との合併等の検討

【行政の主な支援策】

■ 地域担当職員の地域への配置

- 地域活動をコーディネートする職員を拡充。将来的には地域活動拠点（学校等）への配置を目指す

■ 財政支援と活動促進策の検討

- いきいき補助金を契機とした新たな担い手の発掘
- 次世代の関与や活動の裾野を広げる取組の検討

■ 地域と連携した課題解決の推進

- 地域の主要課題（公共交通、空き家・空き地、活動拠点）の解決に向け、さらなる検討を進める

2 地域担当職員 R7年度の動き

- 地域の主体的な活動を支援する地域担当職員について、これまでの業務に加え、地域活動の担い手の発掘や育成、学校との連携、活動立ち上げの伴走支援等のため、人的・業務的に拡充（R7年度2名増）
- 地域専任の職員配置により生まれた余剰で、より深く地域に関わるなど業務も拡充しながら、R6～8の導入期、R9～13の横展開期、R14～の新しい学校づくりとの連動のステップを踏みながら、学校を中心に各地区へと展開

【地域担当職員の拡充】



【学校との連携】



富水小5年生 総合学習（米づくり）の様子

【情報発信の支援】



instagramによる発信

- 「新しい学校」は、地域における学びの拠点、学校と地域が支え合い協働していくための拠点として、持続可能な運営や仕組みも合わせ持つ施設として描かれている（小田原市新しい学校づくり推進基本方針 R5.12）
- この実現に向け、今後拡充していく地域担当職員を、学校と地域のつなぎ役として機能させていくために、まずは、学校の地域関係業務を試験的に支援し、関係の質を高め、地域活動の担い手発掘等活動の裾野を広げていく

【配置する地域担当職員と想定業務】

- 今後拡充していく市職員は、行政経験豊富な役職定年者や再任用職員を基本
- 地域コミュニティ組織の活動量や市職員の地域との関係性（活動状況やネットワーク等）を考慮し配置



想定する学校の地域関係業務支援

学校運営協議会（運営準備）
 施設開放（団体調整）
 通学路見守り活動（調整）
 地域活動団体との連携（調整）等



【試験的配置の検証事項】

実践・検証事項	導入期		横展開期
	R7	R8	R9～
地域担当職員が、どのような学校の地域関係業務を支援するか。業務量はどの程度か	→ 検証	→ 検証	
地域担当職員による業務支援は、学校常駐がマストか。常駐以外（週数日、学校外）は想定できないか		→ 検証	
地域担当職員の業務支援により、学校と地域の連携がどの程度進むか。地域の担い手発掘に寄与するか	→	→ 検証	

地域担当職員の配置

試験的配置

拡充

※ 並行して職員確保の調整

3 地域プロジェクト（仕組）

- 地域資源を生かした課題解決の推進と活動主体の発掘・育成の両方を、地域の負担を最小限にして導入
- 令和7年度に、活動の一步を支える「地域アクションいきいき補助金（トライアル型補助金）」の創設、分科会活動を支える「上乘せ型負担金」の追加、地域活動を発展させるためのアドバイザー派遣制度を創設
- こうした新たな活動について、人的資源へのつなぎや取組の伴走支援を地域担当職員が対応



地域と接点なし
市民活動応援補助金等の活用

地域と接点あり
地域コミュニティ推進事業負担金等の活用

【これからの活動の一步】

【トライアル型】

地域資源を生かした課題解決の一步を支える補助金

新たな活動主体の発掘・仲間入り

機動的な活動

アドバイザー派遣

活動活性化や負担軽減の支援

将来の担い手



まちづくり委員会の活動

【上乘せ型】

活動の拡大に対する分科会負担金の上乘せ

- 各地区への負担金（分科会負担金）
- 情報発信事業負担金（青少年課からの移管）

地域担当職員の支援

人的資源へのつなぎ、取組の伴走

【想定する活動例】



子育て世代のひろば



高齢者スマホ教室



コミュニティカフェ



地域食堂（多世代交流）

【地域アクションいきいき補助金 山王青年会】

※豊川、山王網一色、早川、国府津、曾我、前羽、下中で7件の補助（R7.12月時点）



【活動内容】

- 地域の活性化を図るべく、子供を主体にしたイベント活動の実施
- 今年度は3回、BBQ（マスのつかみ取り）、秋祭り、餅つき大会
- 動員数は1イベントごとに、200人から300人を見込む

【活動の目的】

- 子ども会や自治会への入会促進、活動スタッフの勧誘
- 世代間交流を図り、地域活動の楽しさを知っていただく
- 地域活動を身近に感じてもらい、新たな担い手につなげていきたい
- こうした人材を増やし、山王地区の活性化を図る

【地域活動アドバイザー派遣 桜井地区自治会連合会】

地域コミュニティ活動の専門家を招き、住民意識の変化を踏まえた自治会運営、行事・イベントの見直し、各種地域活動団体との協働・連携強化等について意見交換を実施



4 小田原版エディブル・スクールヤード

【小田原版ESYとは】

小田原版エディブル・スクール(SCHOOL)ヤード =
子どもたちが学び育つ居場所

Sustainability (持続可能な)
Community (地域コミュニティによる)
Hands-on (実践的で) **Open** (開かれた)
Ownership (主体的な) **Learning** (学び)

【場の価値】

- 食と農をめぐる子どもたちの学び
- 五感を刺激する実体験
- 地域ぐるみで育ちの支援
- 多世代との交流創出
- 誰もが主役になれる居場所

【大事にしたいこと】

植えて・採って・みんなで食べる

人と関わり
地域で育つ

地域

生きることの
主体的学び

教育

生産者との
出会いと感謝

農業



【既に行われている活動】

農と食を介した学びや
世代間交流を通じた
実践の場が多数存在

【小田原が持つ可能性】

森里川海オールインワンの
多彩な自然環境や
市民力・地域力の根付き

小田原はESYの宝庫

4 市内の活動状況

エディブル・スクールヤード (ESY) の展開



STEP 2 実践している現場の改善アプローチ



地域担当職員
のつなぎ



< 認知・共感・参加・実践 >

地域・保護者

- 地域食堂
- 農業体験
- PTA
- シニアの活動

学校等

- 学校（菜園）・食育
- 放課後の居場所
- 保育園・幼稚園

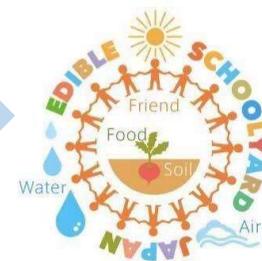
生産者

- 農地

STEP 1 共感を生む情報発信

< 認知・共感 >

多様な主体



エディブル・
スクールヤード・
ジャパン

< 参加・実践 >



おだわらSDGsパートナー
(企業・団体)

人が関わる土壌

STEP 3

新たな場の開拓（開墾） 持続可能な仕組みづくり

4 ESY R7年度の動き

■ エディブル・スクールヤード (ESY) の展開

【富水小×太田農園】



マルシェで商品開発・販売

【千代中×農業指導プロジェクト】



高齢者食堂へ提供



スクミリングガイ対策 (STEAM教育)

5 富水地区での実証実験

地域活動の情報発信・共有に係る実証的な取組

【実証実験 とみずまっぷ】

地域版 (カレンダー)

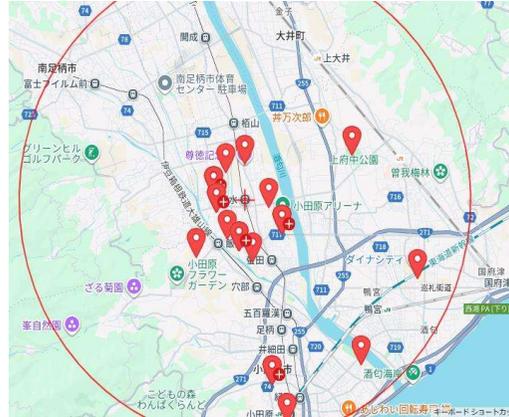
地域版 (イベント地図)

ショップ版 (カレンダー)

12月17日(水) 今日
富水地区のお知らせ

新春コンサート
12月17日(水) 19:30
会場: 富水地区社会福祉協議会
内容: トーンチャイム演奏、お笑いライブ、お茶会など

とんど焼き
12月17日(水) 19:30
会場: 富水地区社会福祉協議会
内容: 伝統行事、お祭りなど



12月17日(水) 今日

無料体験会
富水地区社会福祉協議会
内容: 体験教室、お祭りなど

創業感謝祭
富水地区社会福祉協議会
内容: お祭り、お茶会など

● 1/6時点の状況 (稼働から約2か月の累計)

	地域版	ショップ版	計
投稿数	47	16	63
閲覧数	4,957	1,208	6,165
閲覧者数	395	131	526

● 今後、1月のとんど焼、2月のクリーン作戦等を捉え、閲覧数を伸ばすアクションを展開

【R7年度の展開】



5 自治会における情報発信の取組

■ 地域活動の情報発信・共有に係る実証的な取組

【小台自治会（富水）アプリ】

回覧板

残り掲載日数：39日
回覧板12月号その1



NO	回覧文書名	発行者
1	日祝神社新年初詣・祝賀交歓会のお知らせ	小台自治会・日祝神社氏子会
2	令和7年どんぐり園まきのお知らせ	小台自治会・日祝神社氏子会
3	日祝神社健康美芝ののお知らせ	小台自治会・日祝神社氏子会
4	とみずまっぴ	小田原市地産政策課
5	飯沼大田の交換・贈答作業のお知らせ	小田原市防災対策課
6	隣家から命を守る	小田原市防災対策課
7	インフルエンザ、新型コロナウイルスなど感染症にご注意を	小田原市健康づくり課
8	ひまわりだより	とみず池日興会
9	社員とみず	富水外食協賛協議会
10	評議会長輪だより	富水南北公民館 10
11	池城商店レシゴジウム	小田原市自治会連合会
12	交通電灯設置基金	小田原市社会福祉協議会
13	稲刈のまじり	神奈川県青箱本部
14	認知症サポーター養成講座	小田原市高齢者福祉課
15	いずみふれあい通信	文化・教育分科会
16	おだわら駅長健忘大会	小田原市体育協会
17	スポーツおだわら 第121号	小田原市体育協会
18	はらとくの風	小田原市立神宮小学校
19	学校だより NOS	小田原市立藤巻中学校
20	Jump Up !	小田原市スポーツ推進委員協議会

NEW 残り掲載日数：38日



回覧板



電子ブック



共有リンク



メニュー

【下谷津自治会（芦子）ホームページ】

神奈川県 小田原市
芦子地区自治会連合会
下谷津自治会
ようこそ
jichikai-shimoyatsu.com

メニュー

津波への備え

メニュー

お知らせ ★NEWS

イベント開催や災害時の連絡事項など

[詳しく見る](#)

自治会の情報

回覧・配布・掲示各資料や活動状況など

[詳しく見る](#)

地域の情報

ごみと資源の収集日カレンダーなど

[詳しく見る](#)

防災関連情報

防災/防犯/安心安全の関連情報など

[詳しく見る](#)

県・市などの情報

小田原市、公共施設等の情報など

[詳しく見る](#)

地域の魅力

おだわらってどんなまち？
谷津丘陵や小田原城結構などの歴史など

[詳しく見る](#)

アクセス

Webサイト運用管理要領
所在地、お問い合わせ

[詳しく見る](#)

マイナ保険証を活用した救急活動の本運用について

1 概要

マイナ保険証を活用した救急活動については、総務省消防庁が主体となり令和7年(2025年)10月から令和8年(2026年)3月まで全国各消防本部で実証事業を行っている。

これまでの3か月間における本市消防本部の救急活動状況では、約3割の救急搬送でマイナ保険証が活用され、傷病者の受診している医療機関名、既往歴及び薬剤情報などの情報を正確に把握できたことで、円滑な救急搬送や適切な応急処置に繋がった。

総務省消防庁では、令和8年度から全国の消防本部において本運用を開始する方針を示しており、本市消防本部でも同様に本運用を開始する。

2 本運用

令和8年(2026年)4月から救急隊11隊で運用開始

3 マイナ保険証を活用した救急活動状況（10月1日～12月31日：居住地別）

搬送傷病者 居住地別	搬送件数 (転院搬送を除く)	実施件数	実施比率	未実施件数	未使用内訳				
					隊長判断 (※①)	カード 未所持	保険証 未登録	拒否	カード等 不具合 (※②)
小田原市	2066	623	30.2%	1443	347	913	152	0	31
南足柄市 足柄上郡5町	1143	423	37.0%	720	115	490	101	0	14
管外	333	68	20.4%	265	43	203	16	0	3
計	3542	1114	31.5%	2428	505	1606	269	0	48

※①隊長判断：迅速搬送や本人及び傷病者家族等から詳細な情報があった場合など。

※②カード等不具合：マイナカードの未更新や期限切れなど。

4 今後の見通し（総務省消防庁の動向）

実証事業における検証内容を踏まえるとともに、今後も機能拡充を予定している「スマートフォンでのマイナ保険証も対応可能とする機能」及び「医療機関との情報連携機能」などの検討が継続される。